

クライマーズ・ハイ (2008)

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス

製作国 日本

色彩 Color

時間 145分

初公開日 2008/07/05

公開情報 東映=ギャガ・コミュニケーションズ

【キャッチコピー】

命を追った、
あの夏。

【解説】

当時、地元紙記者として御巣鷹山日航機墜落事故取材した作家・横山秀夫が、自らの体験を基に“世界最大の航空機事故”を最前線で扱うことになった地方新聞社が異常な昂奮状態に置かれ、社内外で壮絶な軋轢と葛藤を繰り広げていく狂騒の一週間を極限の臨場感で描き出した傑作群像小説を映画化。遊軍記者でありながら事故取材の全権デスクを命じられた主人公を中心に、未曾有の大惨事をめぐる様々な人間模様を緊迫感と情感あふれるタッチで描く。主演は「ALWAYS 三丁目の夕日」の堤真一。監督は「突入せよ！「あさま山荘」事件」の原田真人。

1985年8月12日。群馬、北関東新聞の記者・悠木和雅は、出世街道から外れ一匹狼として行動する遊軍記者。社内の登山サークル“登ろう会”の仲間と販売局所属の親友・安西と共に、翌日谷川岳の衝立岩登頂に挑もうと準備を進めていた。そのさなか、乗員乗客524人を乗せた羽田発大阪行きの日航機123便が群馬と長野の県境に墜落した模様、との一報が入る。こうして悠木たちは、前代未聞の大事故をめぐる熾烈な報道合戦に身を投じていくのだった。さらに悠木は全権デスクを命じられ、社内外での駆け引きや軋轢に苦しみながらも使命を全うしようと奔走し続ける。だがそんな中、独り谷川岳へ向かったと思われた安西がクモ膜下出血で倒れたとの報せを受ける…。

【クレジット】

監督	原田真人	Harada Masato
製作	若杉正明	
プロデューサー	久保理茎	
ラインプロデューサー	松田康史	
原作	横山秀夫	
脚本	加藤正人 成島出 原田真人	Harada Masato
撮影	小林元	
美術	福澤勝広	
編集	須永弘志 原田遊人	
音響効果	柴崎憲治	
音楽	村松崇継	
照明	堀直之	

『クライマーズ・ハイ』（文藝春秋刊）

録音	矢野正人	
装飾	大庭信正	
VFXスーパーバイザー	小田一生	
スクリプター	川野恵美	
スタイリスト	宮本まさ江	
助監督	谷口正行	
	桑原昌英	
出演	堤真一	悠木和雄
	堺雅人	佐山達哉
	尾野真千子	玉置千鶴子
	高嶋政宏	安西耿一郎
	山崎努	白河頼三
	遠藤憲一	等々力庸平
	田口トモロヲ	岸円治
	堀部圭亮	田沢善吉
	マギー	吉井弁次郎
	滝藤賢一	神沢周作
	皆川猿時	伊東康男
	でんでん	亀嶋正雄
	中村育二	粕谷隆明
	螢雪次朗	追村穰
	野波麻帆	黒田美波
	西田尚美	安西小百合
	小澤征悦	安西燐太郎
	Yukiyoshi Ozawa	